



教育センター所報

GALILEI



新校舎

新しい教育 柏崎からの発信

インターネット版(カラー)は
「柏崎市教育情報支援システム」
を検索し、トップ画面右上の
「GALILEI」をクリックすると閲覧
できます。

平成 23 年 3 月号

柏崎市立教育センター

3月号 CONTENTS



○ 今月の巻頭言 教育の充実に、更なるセンターの利用を！

柏崎市立教育センター所長 中山 博迪 …………… 1

○ 教育センターたより

● **アクセス**（教育研究班）…………… 2

教師としての専門性と指導力の向上を目指して、スクールオフィス情報 他

● **プロジェクト K**（教育研究班・科学技術教育）…………… 8

新年度準備は進んでいますか？

● **心の窓**（教育相談班）…………… 10

教育相談班 今年度をふりかえって



○ **所員随想「つれづれ」** 酒井 智子 寺瀬富美子…………… 13

○ **2月の教育センター参加・利用状況**…………… 14

○ **4月の行事予定表**…………… 15

◆先日、あるメディアで独立行政法人「国際協力機構」(JICA)が開催している全国巡回写真展「世界を写そう：私たちは貧困を終わらせる」の様子を紹介していました。それによると、日本で1年間に捨てられる食品は、なんと東京ドーム約80杯分の1900万トンに上り、世界の約7000万人が1年間に食べていける量に相当するといわれています。また小学校にも通えない子どもたちが、世界には約7300万人もいるとのことでした。

日本では、基本的人権の1つとして「教育を受ける権利」が確立されており、教育の必要性を改めて考える機会が少ないかもしれませんが、世界にはまだまだ小学校にも通えない子どもたちがたくさんいるということを、私たちは一人の地球人として知っておく必要があると思いました。

さて、そのような貧富や教育の格差がある中、最近の日本の社会的な風潮として、自分のことしか考えられない、

自己中心的な人間による凶悪犯罪が増えてきているように感じています。残忍な事件が連日のように報道され、その度に心が痛みます。本来、人間がもっているはずの清い魂はどこへ行ったのでしょうか？

「今の社会が悪いからだ。」と言ってしまうかもしれませんが、心を失いかけた人間があまりにも多くなっていることに怒りを感ずると共に、学校教育や家庭教育の在り方を改めて考え直す必要があると感じています。

早いもので、平成22年度も終わりを迎えました。この1年間、所報「ガリレイ」をとおして、教育センターの様々な取組やタイムリーな情報を、コンパクトにまとめて皆さんに発信してきました。

小学校ではいよいよ4月から新学習指導要領に基づいた授業が始まります。また中学校も、1年後には本格実施となります。新しい教育の流れが、着実に進んでいます。(nh)



教育の充実に、更なるセンターの利用を！



柏崎市立教育センター

所長 中山 博迪

平成22年度がまもなく終わろうとしています。この1年間、20人のスタッフで「教職員研修と教育相談」を運営の2本柱としながら、各種事業の推進に努めてまいりました。

今年度も、昨年度同様に大変多くの教職員の皆さんに講座等で教育センターを利用していただきました。専門研修講座は、計125回実施し、延べ2828人が受講されました。柏崎市刈羽郡の小中学校に限っていいますと、昨年度よりは0.4ポイント上昇し、一人当たり平均3.4回の参加がありました。また教職員一人当たりの平均参加数も5.6回の学校をトップに、3回以上参加の学校が半数を超えています。もちろん「センターの研修」がすべてではありません。研修スタイルも多様です。個人や各種研修サークルでもできます。決して強制とはいいいませんが、他の市町村と比べても遜色のない当センターを大いに利用し、更なるスキルアップを図っていただきたいと思います。

教育相談班は、10人で業務に当たりました。増加傾向にあるカウンセリング件数に対応するため、3人の相談員がカウンセリング業務にあたりました。教育相談の課題としては、家庭の養育不全を伴う事例の増加と、発達障害の事例の増加があげられます。それに加え、相談内容の複雑化と相談事例の重症化が増えており、多くの時間とエネルギーを要しています。教育相談体制の更なる充実と併せて、家庭教育の充実など予防法的な取組も積極的に進めないと、相談事例はますます深刻化する気がしています。

さて全国で新潟県のみが唯一運営し、理科教育の充実・発展に大きく貢献してきた「地区理科教育センター」が、今年度から大きく変わりました。県は昨年度末で長年続いていた「専任所員派遣制度」を廃止し、学校籍の「センター協力員」（午前は所属校、午後は教育センター勤務）と県費の「嘱託専門所員」（平成22年度より3年間配置、1日6時間勤務）で理科教育センターの機能を引き継ぐようになりました。「地区理科教育センター」そのものは維持されているものの、今までのようなフットワークのよい支援・指導体制は、難しくなりました。そのような厳しい条件の中、各種事業の見直しや精選を行い、また様々な工夫をしながら学校等の要望や要請に応えるべく努力してきました。

柏崎市は昨年度末に、教職員用として約700台のコンピュータを配備しました。「校務の情報化」を進めるための「1人一台環境」が整い、今年度から正式運用を開始しました。このシステムがカバーする領域は非常に広く、一気に導入すると学校現場での混乱が予想されるため、十分な準備期間を設けて段階的な運用を目指しています。具体的にいいますと、来年度は「保健管理システム」、再来年度からは2年かけて「成績管理システム」の導入を行い、平成25年度からの完全運用を考え、センターとして支援していきます。

この他、当センターでは「教育情報支援システム」を初めとして、様々な情報発信に努めています。毎月発行している所報「ガリレイ」についても、紙面及びインターネットの両面から最新の情報を提供しています。是非、これらも有効活用して、各学校の教育力向上や課題解決に役立ててください。

教師としての専門性と指導力の向上を目指して

— 平成 22 年度教職員研修講座終了 —

お陰様で今年度の研修講座が全て終了しました。2800 名を超えるたいへん多くの皆さんからの参加をいただくことができました。柏崎・刈羽教職員の皆さんの研修意欲の高さを改めて実感しています。ありがとうございました。みなさんから寄せいただいた感想やご意見をもとにしながら、来年度もよりよい研修講座の企画・運営に努めてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

教科・領域	研修概要	回数	受講者数
国語	国語教科指導法Ⅰ・Ⅱ	2	63
社会科	社会科教材研究, 市内文化財巡り, 南中研究発表	3	115
算数・数学	示範授業講座, 授業改善講座, 数学教材研究Ⅰ・Ⅱ	4	128
理科	小学校単元×(7), 中学校単元×(4), 小・中共通×(6)	17	201
生活科	楽しいおもちゃ	1	24
音楽	歌唱実技講習, マーチングバンド講習	2	72
図工・美術	児童画指導法	1	27
保健体育	ニュースポーツ	1	38
技術・家庭	中学校技術科教材研究	1	9
英語	小中連携英語教育、小学校外国語活動、英会話教室	3	80
道德教育	教育活動全体で行う道德教育, 比角小研究会	2	241
特別活動	学級集団づくり	1	40
生徒指導	保護者相談、カウンセリング技法、精神障害の理解、授業と生徒指導	4	127
同和教育	同和教育現地研修, 同和教育部落史	2	94
進路指導	学校におけるキャリア教育	1	32
学校事務	学校事務研修Ⅰ・Ⅱ	2	68
食育	食育授業講座Ⅰ・Ⅱ	2	46
学校保健	性教育, 救急法, 瑞穂中学校研究発表	3	197
特別支援教育	ユニバーサルデザイン教育, 個別の支援と学級経営, WISC-III入門・事例検討, 子どもをつなぐ授業づくり	5	185
学校経営・教育課程	スクールオフィスの活用, 小中一貫教育	2	67
図書館教育	読書感想文指導と本の修繕、ブックトークの魅力	2	70
教育論文	論文の書き方	1	23
園・学校連携	子ども虐待防止講演会	1	130
総合的な学習	総合学習の授業づくり, 環境教育実践プログラム, 川での投網体験	3	56
情報教育	校務の情報化, 情報教育, 授業における ICT 活用, セキュリティ関連	55	575
学校安全	AED実技講習Ⅰ～Ⅲ, 公文書の書き方	4	120
計		125	2828

子どもたちの笑顔・無限の可能性を求めて

— 第9回柏崎の教育を語る会の様子 —

例年当センターが主催している「柏崎の教育を語る会」が、去る2月5日に開催されました。休日の午後にもかかわらず、各方面から100名を超える大勢の参加者が当センターに集い、柏崎のこれからの教育について考えました。今年のテーマは、「子どもたちの笑顔・無限の可能性～0歳から15歳までの子育て・親育ち～」でありましたが、園・小・中それぞれの円滑な接続について、また、園・学校・家庭・地域・行政の連携のあり方や具体的な実践の方向について語り合いました。

当日の様子について一部紹介します。

柏崎の教育の指針「柏崎の教育3・3・3運動」の推進

学校教育課主幹 品 田やよい

はじめに、柏崎市立教育センター所報「ガリレイ 1月号」の巻頭言には、次のような小林教育長の言葉が記載されている。

- ・「子どもが発達課題を乗り越えながら大人になるように、親も親として育つ課題を乗り越えてより良い親になる。」という仕掛け（施策）が必要不可欠である。
- ・義務教育は「意図的、計画的に」子どもに施され、強制力をも伴っている。
- ・社会教育は学校教育と異なり、強制力を伴わない教育である以上、「学ぶべき対象に気づかせる」機会を提供し続ける機能を発揮しなければならない。
- ・「親としての発達課題に気づかせる営み」を強制力なく施す社会教育の一つのよすがとして「柏崎の教育3・3・3運動」を位置づけている。
- ・キーワードは「大人も一緒に取り組もう」であり、成長し続ける親の子どもは期待を裏切ることはない。
- ・子育てや親育ちという生涯学習は期間限定に近く、もっとも適時になされなければならない。



柏崎では、「柏崎の教育3・3・3運動」を全家庭に配布している。「大人も一緒に取り組もう。」ということである。実践と体験とそして創造の部に分かれている。これは子どもだけではできない。つまり、私たち大人への指標でもある。昨年度には、保育園・幼稚園版ができた。「元気で、なかよしで、どきどきわくわくして、笑顔」これが子どもたちの無限の可能性を引き出し、そして、子どもだけでなく、私たち大人にも取って代わる言葉である。心身ともに健康な大人で。仲良く。その中でバリバリと実力を発揮できる大人に……。私たちは、感性豊かな大人になっていかなければならない。

今日は、園・学校・家庭・地域の連携が一つの視点になっているが、子どもの成長発達に切れ目はない。乳幼児期・児童期を対象とした、より滑らかで融合した取組で、連続した教育、一貫した教育で、一層の効果をあげていきたい。まずは、幼児期の教育（保育園・幼稚園）と小学校教育の円滑な接続を推進することにより、幼児・児童の切れ目のない発達や学びの連続を保障し、「学びの基礎力」を育成したい。小・中では、柏崎方式をとっている。義務教育9ヶ年でその地域の子どもたちに身につけさせたい資質や能力を明確に「目指す子ども像」の共有、発達段階に応じた指導内容、指導方法等の情報の共有、地域の特性を生かした魅力ある学校づくりなどである。今日は、多様な角度から具体的な声を出し合う中でよりよい連携の具体に迫り、できるところから、まず一步を踏み出していきましょう。



柏崎市教育委員会 〒945-8511 柏崎市中央町5-50
(学校教育課)0257-21-2366 (生涯学習・体育課)0257-20-7500

子どもの健やかな成長を求め
学校・家庭・地域で
大人も一緒に取り組もう



柏崎市教育委員会 《学校教育課》0257-21-2366 《生涯学習課》0257-20-7500 《子ども課》0257-21-2233

子どもの健やかな成長を求め
保育園・幼稚園・家庭・地域で
大人も一緒に取り組もう

ワークショップの様子

「親育ち、大人育ち」を視点を話し合いを行った。現在の親は、自分の子ども中心（My child）で、Our children になっていない方が多い。もっと Our children といった姿勢が必要である。また、自分の子どもをかわいがり、愛情をしっかりと持っている親もいるが、自分の生活を重視したいという価値観が昔より増えているのではないだろうか。価値観・生活習慣が多様化してきている。

さて、子どもだけでなく親同士が、もっと交流の楽しさを体感していかなければならない。受動的でなく自分から参加をし、楽しさを味わうことが大事である。そして、学校も地域行事にどんどん参加すべきである。そのためには、地域と学校のパイプ役(コーディネーター)を設置し組織化していくことも視野に入れなければならない。実際に、フットワークが軽くなり地域と学校と家庭の連携がうまく取れた事例がある。

これからは、親(大人)が主体的にかかわれる仕掛けを創出していくことが大切である。大人が積極的に関わっていくことで、子どもたちは育っていくはずである。



テーマを「手伝い」に絞って話し合いを深めた。

手伝いをしていないということは、生活力の乏しさに結びついていってしまう。経験や習慣はやはり重要である。子どもは、既に2歳の頃から手伝いをしたいという心が芽生える。例えば友達のコップが分かっている、順番に並べてくれたり・・・、そういうときにほめてあげることが園でも学校でも家庭でも大切である。

芽生えた時期に適切に対応することで、「育ち」を確かなものにできると考える。そして、小学校、中学校と成長の段階に応じた手伝いができるように、また社会性が身についていくようにしていきたい。

そのためには、保護者への啓発や話し合いの機会を設けるなど、園・学校が中心となって一緒に取組を進めていくことが重要である。また、園・小・中、保護者、地域が意思の疎通を図りながら系統的に取り組んでいくことで成果を一層高めていきたい。



私たちのグループは、とっても素敵なタイトルができました。「教育は夢仕事、学校は夢工房、家庭・地域は夢応援団」

地域との連携がまずは大事であることを再確認した。地域の宝、地域の人材の活用、テーマを決めて大人が学ぶことの大切さ、地域の人材を活かしたキャリア教育(職場体験)、大人と子どもが共に汗を流して活動する奉仕体験、地域ぐるみのあいさつ運動などを充実させていくことについて話し合った。ところで、この基盤となるのが大人のネットワークづくりである。保護者同士、保護者と学校、地域と学校がつながっていくことが何より大事である。このネットワークづくりを充実することは、未来の柏崎を担う子どもの15年教育が充実していくことを意味している。

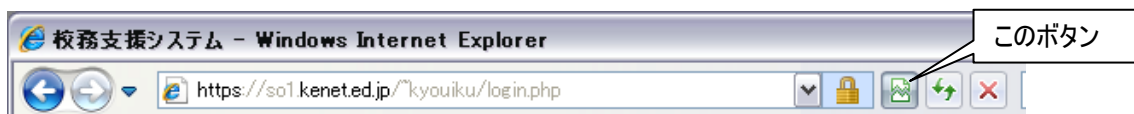


■ ■ ■ スクールオフィス情報 ■ ■ ■

■ スクールオフィス活用のヒント

1... まずは環境設定の情報を確認

- ・教育センター作成のテキスト「NO.1 利用環境の設定」には、ブラウザなどの環境設定の情報が説明されています。これをしっかりとやっておかないと、ファイルのダウンロードがブロックされるなど、操作手順が面倒になります。
- ・スクールオフィスは Internet Explorer などのブラウザ上で動作するシステムですが、正式に対応しているのは IE7 までです。WindowsUpdate などで IE8 に上がると、メールの画面が崩れることが確認されています。IE8 で使用する場合は「互換表示」ボタンを ON にして下さい。



- ・スクールオフィスの一部の機能は Excel のマクロを利用していますが、対応しているのは Office2003 までですので、Office2007 や Office2010 では正しく動作しない場合があります。教職員用 PC の導入時に Office2007 を選択しなかった理由の一つです。

2... 添付するファイルサイズには制限あり

- ・メール、掲示板、回覧板など、ファイルを添付する機能を使用する場合、添付ファイルの合計サイズが 8MB を超えると添付ファイルが無視されるか、その操作がエラーになりますので注意して下さい。スクールオフィスでは様々な機能でこの 8MB の制限があります。
- ・Word などではファイル保存時に図の圧縮が指定でき、簡単な操作でファイルサイズを小さくすることができますので、積極的に活用して下さい。

3... 校内・校外の連絡、資料配布にグループウェアを活用

- ・連絡や資料配布にはスクールオフィスのグループウェア機能（主にスケジュール、掲示板、回覧板）を積極的に活用し、全員が利用する習慣を身につけることが重要です。

4... 市内の学校間の連絡・調整には電話・FAX を減らし、回覧板を活用

- ・メールと違い、回覧板は相手が見てくれたかどうかを確認でき、それぞれの閲覧者がコメントを記入することができます。ファイルも添付でき、資料の配布や会議等の日程調整にはとても便利です。
- ・よく使うパターン（だれ宛か、件名、内容など）を「保留」として作成しておき、「再利用」すれば、短時間で作成可能です。
- ・全員が意識的にチェックする習慣が身についていないと他の人に迷惑がかかることになります。



5... 名簿や行事予定はスクールオフィス+Excel で役割分担

- ・スクールオフィスは Excel の併用が前提のシステムです。基本的なデータの管理はスクールオフィスで行い、出力は Excel で調整するように考えると良いでしょう。
- ・よく利用する書式は Excel で枠（印刷イメージ）を作成しておき、スクールオフィスからダウンロードしたデータを「値の貼り付け」で Excel に貼り付けて印刷するのが効果的です。
- ・スクールオフィスでは外字は一切扱えません。スクールオフィスの名簿に登録した段階で文字が化けてしまい、外字を登録した PC でも表示や出力はできません。

6... メールや回覧と文書管理を混同しない

- ・柏崎市立ではない学校との連絡に文書管理や回覧は使えません。
- ・柏崎市立の学校宛の公的な文書は文書管理で発送するのが基本です。相手が受理する必要がある文書はメールや回覧で送らないようにして下さい。

7... 学校のホームページは「おたより」機能を活用して更新を容易に

- ・「おたより」機能はブログのようにだれでも簡単に記事を公開できるしくみです。
- ・学校のホームページは、更新頻度の少ない情報は自由度の高い従来の方法で作成し、更新頻度の高い情報は作成が容易な「おたより」機能で作成すれば、管理が容易になります。

8... 教育ネットワーク内ならどこでも使えることを活かす

- ・自分の学校内だけでなく、市内の他の学校、教育センターなどでも自分の環境にログイン可能です。
- ・ファイルを添付した回覧を作って保留にしておけば、データを持ち歩かなくても取り出すことができます。

■ ■ ■ セキュリティ情報 ■ ■ ■

🖨 セキュリティホール情報

マイクロソフトより、3月9日付で3月の定期更新として、Windowsなどの重要な更新が下記のように公開されました。まだ Update が済んでいないようでしたら、至急 Windows Update などを実施していただくをお願いします。

No.	更新の名称	脆弱性等の情報	対象	深刻度
1	MS11-015 Windows の重要な更新	Windows Media の脆弱性により、リモートでコードが実行される (2510030)	Windows XP,Vista,7 2008Server	緊急
2	MS11-017 Windows の重要な更新	リモート デスクトップ クライアントの脆弱性により、リモートでコードが実行される (2508062)	Windows XP,Vista,7 2003Server, 2008Server	重要
3	MS11-016 Groove の重要な更新	Microsoft Groove の脆弱性により、リモートでコードが実行される (2494047)	Microsoft Groove2007	重要

注意 警告 重要 緊急 は右側ほど深刻度が高く、緊急の対応を要します。グレーの項目は企業向け。

プロジェクト K

(科学技術教育センターだより)

新年度準備はすすんでいますか？

○学習内容を確認しておきましょう

新学習指導要領も、小学校ではいよいよ完全実施、中学校では移行3年目を迎えます。小学校では教科書も新しくなり、単元配列に若干変化が見られます。また、中学校は、新たに追加になる内容、削除になる内容を確認し、履修漏れ等が無いように注意しましょう。

☆中学校

第1学年 … 平成22年度と同様

第2学年 … 平成22年度と同様

第3学年 … <追加内容>

○物体の運動

・力のつりあい

○いろいろなエネルギー

・力学的エネルギーの保存

○化学変化とエネルギー

・日常生活等で利用される代表的な電池

・酸、アルカリとイオン

・中和と塩(pH, 水に溶ける塩, 溶けない塩)

○エネルギー資源の利用

・さまざまなエネルギーとその変換

「熱の伝わり方」「エネルギー変換効率」

・放射線の性質と利用

・科学技術の発展

○自然環境の保全と科学技術の利用

※「自然と人間生活」「科学技術の進歩と人間生活」→選択から必修へ



○薬品点検、理科準備室の整理整頓も忘れずに！

理科準備室をのぞいて見ましょう。実験器具や希釈した使いかけの薬品が準備室の机の上に出っぱなしになってはいませんか。調整した水溶液をペットボトルに入れて保管しているようなことはありませんか。

・春休み中に薬品点検を行いましょう。

年度当初の理科主任会でも、年3回の薬品点検をお願いしています。忙しい時期ではありますが、理科準備室の整理とあわせて薬品点検を行い、保有薬品量を把握しましょう。

・ペットボトル等での薬品の保管は極力避けましょう。

ペットボトル等での薬品の保管は極力避けましょう。やむをえない場合は、容器に内容物が何であるのか明記しましょう。食塩や砂糖など、食品をそのまま実験で使う場合には、誤飲誤食を防ぐため、容器を移し変えるか、実験用であることを明記する必要があります。

・実験器具の点検をしましょう。

実験器具は次に使うことを考え、きれいに洗浄して、使いやすく整頓しましょう。通常の洗浄では、集気ビンなどに付着した白い汚れや、染色液による汚れはなかなか落ちません。理科主任の先生を中心に、作業日を決めて計画的に実施しましょう。

※器具の取扱い、薬品の管理などについて、ご不明な点があればいつでもお問い合わせください。

○年度当初に準備が必要な教材は？

小学校で使用する教材では、ゆとりを持って準備をすることが必要となる物が多くあります。例年のことではありますが、年度当初の単元に必要なもの、また栽培に関するものなど、教材のチェックをしましょう。

例 3年生

- **キャベツ苗**…モンシロチョウに卵を産ませます。なくならないうちに早めに苗を入手しておきます。
- **ヒマワリ、ホウセンカの種**…授業で最初にするのが種まきです。種まきの時は、水につけるなどして発芽率を高めましょう。
- **棒温度計、虫めがね、遮光ガラス、方位磁針**…壊れているものがないか確認し、数を補充しておきましょう。方位磁針は、南北が反対になっているものを直しておくことも必要です。

4年生

- **ヘチマ、ダイズの種**…ヘチマは発芽率が良くない場合があるので、予備を多めに植えておくことも大切です。
- **温度計、百葉箱、(自記記録温度計)**…棒温度計は、3、5年生でも使います。割れているものがないか、液切れしているものがないか確認しておきましょう。

5年生

- **インゲン豆、ヘチマ、キュウリの種**…インゲン豆はつるなしのものを準備します。ヘチマ、キュウリは7月の単元ですが早めに育てておきます。(受粉の実験に使うので苗を準備しても良いです。)
- **百葉箱**…箱自体だけでなく、中の温度計も壊れていないか確認しておきます。
- **メダカ、水草**…メダカは飼育用具が必要です。特に飼育水槽にはメダカを入れる数日前から水を循環させておくようにしましょう。
- **ヨウ素液**…ポビドンヨードを使用したうがい薬を薄めたものでも代用できます。褐色のビンに入れ、冷暗所で保管しておきます。

6年生

- **種イモ(ジャガイモ)**…ホームセンター、種苗店で売っているものを使います。(人気のある品種の種イモは早い時期に売り切れてしまうことがあります)
- **ロウソク、マッチ、線香**…入手は簡単ですが、思った以上に数が必要になることがあります。事前に準備し、しっかり管理しておきましょう。
- **燃焼さじ**…ロウソク立てが取れていたり、曲がって使いにくくなっていたりするものがあります。数も確認しておきましょう。
- **集気ビン(底あり、底なし)**…割れているもの、ヒビの入っているものは使えません。白い汚れは薄めた塩酸で洗うときれいになります。フタはガラス製のものは使えません(無い場合は、木片とアルミ箔で自作しておきます)。
- **石灰水**…専用の容器を決めて、作り置きしておくとう便利です。急ぐときは石灰を混ぜた水をコーヒーフィルターでろ過すると良いでしょう。
- **実験用気体ボンベ**…酸素、二酸化炭素、窒素×班の数+2~3本
- **気体検知管**…酸素、二酸化炭素用を予備も含めて、少し多めに準備しておきます。
- **エタノール**…葉の色を脱色するときに使います。飲用毒性のあるメタノールは児童には使用させないようにしてください。

○年間の野外観察等の予定を検討しましょう

年間を見通して、地層観察会や星空観察会などの日程を検討し、年間計画に仮予定を入れておきましょう。また、そろそろ春の草花が顔を出しはじめ、判別しやすい時期になってきました。子どもたちを野外に連れ出す学習は目前です。学校周辺の植物の下調べをしておくことも大切な準備のひとつです。

心の窓

No.139

平成 23 年 3 月 18 日（金）

〒945 - 0833 柏崎市若葉町 2 - 31

TEL 0257(23)4591（代表）

FAX 0257(23)4610

教育相談班 今年度をふりかえって

《カウンセリングルーム》

教育相談班のカウンセリングルーム来室相談は、1 月末で 641 件となり、前年同時期の 618 件をやや上回りました（昨年度比 3.7 パーセント増）。相談内容の内訳では、「不登校」に関する相談人数が最も多く、次いで、「発達障害（通常学級）」となっていて、21 年度とほぼ同様の種別件数の傾向です。なお、昨年度 0 件だった児童虐待に関する相談が、今年度は 5 件発生しています。

相談事例の傾向としては、家庭の養育不全を伴う事例の増加と、発達障害の事例の増加が挙げられます。それに付随して、相談内容の複雑化と相談事例の重症化が見られ、職員に多大な時間とエネルギーを要するようになってきています。加えて、就学相談における個別式発達検査、知能検査の実施や結果の説明・解説を保護者に行うこと等も期待されるようになってきており、職員に更なる専門性が必要とされてきています。

＊カウンセリングルームの相談内訳（平成 23 年 1 月末現在）

(1) 年代別面接相談件数【（ ）内は新規人数】

	幼 児	小学生	中学生	高校生	教員・一般	合 計
面接件数	97 (59)	274 (93)	229 (69)	5 (3)	36 (30)	641 (254)

(2) 内容別面接相談件数【（ ）内は新規人数】

	就学 相談	通常学級 発達障害	特支学級 発達障害	不登校	いじめ	非行	集団 不適応	心身の 不調	情緒・精 神の障害	親子関係 の問題	虐待	合計
面接 件数	97 (59)	157 (74)	34 (19)	287 (71)	4 (2)	5 (2)	1 (1)	28 (9)	7 (1)	11 (6)	5 (5)	641 (254)

（文責 教育相談係長 小林 東）

《ふれあいルーム》

3 月 22 日で、ふれあいルームの今年度の通級が終了します。

今年度のふれあいルームは、4 月には 9 名在籍、3 月は 15 名（試験通級含め）在籍です。先月の 28 日には、3 年生を送る会を開き、2 名の中学 3 年生を送りました。

ふれあいルームが特に大切にしてきたことは、「体験活動」です。活動を企画する際、楽しく参加できるように配慮するだけでなく、通級生が係の仕事に責任を持って果たすことで自分の存在確認ができ

るよう配慮しました。方法として、例えば9月の宿泊体験では、具体的にいつ・どんなことをするのかをポスト・イットに書き、日程表に貼ることで、一日の流れを視覚で確認しました。夜の振り返りの会では、係の仕事ができ、責任を果たせて良かった、と話す通級生もいました。学校では、自信が持てずできないことも、少人数のふれあいルームならやれることがたくさんあります。

通級生は、いろいろな体験をすることで、少しずつ失った自信や存在感を取り戻していけるのです。「みんなで楽しもう！盛り上がろう！」をモットーに、ふれあいルームは、1年間活動してきました。現在は、締めくくりとして、1年の歩みをフォトブックとして作成しています。

22年度のふれあいルームの行事の一部です。



活動の流れを貼り出し
自分がどこで、いつ、どんな
ことをするのかを確認しま
した。

一日の振り返りをみんなで
しました。頑張った自分を
それぞれが確認しました。



BMXに挑戦！ドキドキしたけ
ど、やった時の達成感は、格
別！！やってみなきゃわからな
いことを知りました。



忍者村では、みんなで忍者の
気分で楽しみました。
みんなで遊ぶと楽しいこと
がわかりました。



いちご

間廬市にちなみ、笹団子を作
りました。今年は、オリジナ
ル笹団子を作りテンションが
上がりました。



しそ

レーズン

(文責 ふれあいルーム指導員 池田 恵里子)

《学校訪問相談》

平成22年度学校訪問回数は104件でした(平成23年3月4日現在)。今年度は定期訪問を年1回とし、その後は要請に応じて訪問相談やサポート協議会を実施してきました。

(1) 定期訪問での相談内容の内訳(小学校25校・中学校12校)

相談 内容	特別支援 (通常学級在籍)	不登校傾向 不登校	特別支援 (特支学級在籍)	生徒指導	学級経営 学習指導	その他
割合	57%	18%	11%	7%	5%	2%

(2) 要請訪問での相談内容の内訳（要請件数 68 件）

相談 内容	通常学級における特別支援、 学級経営・学級指導	登校渋り 不登校	発達障害	ネグレクト	その他
割合	69%	25%	4%	1%	1%

通常学級に在籍する特別支援を要する児童・生徒に関する相談件数の割合が半数を超え、昨年度に比べ増えています。対応に苦慮している学校の実態が明らかになりました。特性に起因する不登校傾向・不登校状態が見られる場合があります。今後、全ての教職員が発達障害特性についての理解を深め、校内体制を整えて支援することが課題となってきます。

また、学校サポート協議会を実施しております。今年度の実施件数は 19 件でした。いずれも教育・保健・福祉・医療等複数の専門機関で支援している長期化ケースです。各機関での支援方法を考え、学校・関係機関で実施し、該当児童・生徒の成長につなげています。

学校訪問相談では、関係機関と連携を図りながら、今後も、学校のニーズにあったより具体的な相談・支援を行っていきたいと考えております。

（文責 学校訪問相談員 寺瀬 富美子）



《教育電話相談》

今年度の電話相談件数は、昨年度より増加し、3月8日現在で22件でした。相談者は中学生本人が最も多く、次いで中学生・小学生の保護者、幼児の保護者からの相談もありました。主な内容は、家庭の問題、いじめ、不登校、発達障害、特別支援学校に関する事等でした。また、一般の方からの教育に関するご質問等もいただきました。相談によっては、当センターのカウンセリングルームやふれあいルームをご紹介します、改めてお話をうかがうことになったケースや、学校と連携しながら支援を継続したケースもあります。

気になるお子さんの様子や発達障害への意識が高まってきている今日、学校との信頼関係のもと、直接病院等の専門機関につながるケースが増えてきています。しかし、匿名での相談という性質から、専門機関につながる前の不安や迷い、苦しみを聞いてほしいという保護者や中学生からの相談があり、そういった場の必要性も感じています。思い悩みながら一歩を踏み出して電話をくださった相談者の思いを大切に受け止め、どうすることが状況の改善につながっていくかを一緒に考えていきたいと思っています。また、その中で、前へと動き出そうとする相談者本人を応援し、必要な時にはその気持ちに寄り添ってお話をうかがえる、そんな場でありたいと考えています。

不安でしかたがない時、誰かに話を聴いてほしい時、匿名で利用できる教育相談電話をぜひご利用ください。

（文責 教育相談係主査 長谷川 裕美）



《ふれあいルームの予定》

6日（水）通級開始日

12日（火）徒歩遠足

*雨天の場合は15日（金）まで順延

22日（金）保護者会



「顔晴れ」

教育研究班（科学）

協力員 酒井 智子

雑誌をパラパラとめくっていたら、一編の詩（右記）に目がとまりました。井上秀雄さんという ALS（筋萎縮性側索硬化症）で闘病中の中学校の先生が書かれた詩です。

頑張っている（つもり？）のに、なかなか結果に結びつかない、そんなとき。かけてもらう「ガンバレ」は、ちょっとイタイ・・・。

本当は、温かい気持ちのはずの「ガンバレ」も、カチカチの疲れた心には届かない。そんな硬い心をそっとほぐしてくれた、やさしい言葉でした。

「『顔晴れ』ているかな」と自分を振り返りつつ、年度末業務に、さあ、もうひと踏ん張り！

※「街角かがく倶楽部 洛西」

（<http://matikadorakusai.blogspot.com/>）で井上さんの他の詩を読むことができます。

「顔晴れ」

教え子が
顔晴る←「晴れやかな顔になるよう行動すること」
という言葉を読ませてくれました。

顔晴れ

顔は ガン
だから これで
ガンバレと 読む

こっこの 顔晴れには
ガンバレほどの
押しつけが ない
なにか さわやか



スローライフを楽しむ

教育相談班 相談員 寺瀬 富美子

いくつになっても春は待ち遠しい。とりわけ大雪の最中ちらっとかいま見た太陽は、崇高な感動と喜びをもたらしてくれた。忘れられない太陽だ。自然の恵みは本当にありがたい。年を重ねるごとに自然に目が向き、スローフードやスローライフ、そして、自然体に憧れるようになった。長年蓄えた贅肉をゴッソリそぎ落とすことも大仕事だ。ああ、大変！

友人と食事をしながら談笑する。カロリーオーバー、コレステロールは増える一方で残念な結果なのだが何より楽しい。孫とイチゴにチョコレートコーティング、手作りチョコを前に「おばあちゃん、今のうちに食べちゃって」と孫が曾祖母である私の母親に勧める。孫との何気ない日常は代え難い楽しさで元気をもらっている。

家族でサッカー観戦に出かけた。観覧席の応援の渦に気持ちが高揚してスッキリしてくる。学生時代の友人との旅行では、一瞬にして昔に戻り心地よい時が流れる。テレビで「相棒」「イ・サン」を予約して見ている。お気楽な時間が過ぎてゆく。

太陽を待ちわびるように「楽しい」は私のスローライフのキーワードになっている。



H22年度の教育センター参加・利用状況

研 修 講 座・事 業 名			8月の 利用数	9月の 利用数	10月の 利用数	11月の 利用数	12月の 利用数	1月の 利用数	2月の 利用数	H22年度 利用合計数	
教育 研究 班	専門研修講座(情報・科学を除く)　＊		16回	4回	5回	10回	5回	0回	0回	55回	
			504人	135人	289人	448人	251人	0人	0人	2064人	
	共催研修、研修講座		2回	1回	1回	2回	0回	0回	1回	10回	
			51人	34人	197人	165人	0人	0人	100人	662人	
	調査研究員会,教科研修員会		1回	3回	7回	4回	0回	0回	1回	23回	
			1人	3人	7人	4人	0人	0人	10人	45人	
	教育情報化研修講座　＊		12回	2回	2回	3回	5回	4回	2回	52回	
			124人	2人	2人	61人	64人	70人	12人	539人	
	情報教育主事の要請支援等		5回	13回	25回	11回	6回	8回	10回	118回	
			24人	30人	73人	41人	91人	110人	49人	668人	
その他の相談・利用・参加数		0回	0回	2回	1回	0回	0回	0回	22回		
		0人	0人	3人	2人	0人	0人	0人	137人		
教科書センター利用閲覧数		12人	9人	4人	15人	18人	5人	8人	473人		
教育 研究 班・科学 技術 教育	理科研修講座　＊		3回	2回	2回	1回	1回	1回	1回	18回	
			51人	50人	12人	5人	4人	8人	5人	225人	
	学校等の要請研修		1回	3回	1回	2回	0回	0回	1回	13回	
			4人	66人	10人	38人	0人	0人	26人	474人	
	地域の自然研修・観察会		0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	3回	
			0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	85人	
	科学教育振興事業(科学の祭典・科学教室等)		804人	2,208人	0人	1,300人	0人	0人	0人	8890人	
	理科教育の相談・支援		16件	3件	17件	6件	1件	11件	6件	88件	
	理科教材・物品の貸出		3件	31件	26件	5件	3件	18件	10件	123件	
(教職員研修の合計)		55人	85人	22人	9人	4人	8人	5人	298人		
教育 相談 班	カウンセリングルーム来室相談		新規相談件数	21件	20件	26件	26件	32件	17件	15件	269件
			のべ相談件数	52件	66件	68件	77件	98件	69件	66件	708件
	学校訪問相談		7回	7回	8回	10回	9回	7回	6回	101回	
	電話相談		3件	3件	2件	1件	2件	1件	0件	21件	
	ソーシャルスキルトレーニング		4回	1回	5回	4回	6回	4回	6回	45回	
			22人	5人	26人	22人	37人	22人	35人	248人	
	ふれあいルーム在籍人数		小学生	3人	3人	3人	3人	3人	3人	3人	33人
			中学生	8人	9人	9人	9人	10人	11人	12人	97人
	ふれあいルーム通級日数		3日	20日	16日	20日	16日	15日	16日	178日	
	ふれあいルーム通級のべ人数		小学生	6人	43人	27人	38人	21人	29人	42人	365人
			中学生	8人	70人	75人	100人	80人	72人	94人	773人
	ふれあいルーム学校復帰人数(部分復帰を含む)		8人	6人	7人	8人	8人	8人	7人	78人	
教育団体，ＰＴＡ，市民等の利用			358人	270人	263人	344人	201人	217人	176人	3105人	
教育センター事業の参加・利用総数			2,071	3,055	1,135	2,708	912	656	660	20,063	
教育センターにおける教職員研修講座 （＊印の合計）			31回	8回	9回	14回	11回	5回	3回	125回	
			679人	187人	303人	514人	319人	78人	17人	2,828人	

####

平成23年度 月間予定表

4月

柏崎市立教育センター

日	曜	研修・行事・会議	内部事務▼・出張等	関係事業・施設貸出等
1	金		▼所内会議 13:00 ▼辞令交付式(多目)15:00	教職員辞令交付式(市民プラザ)
2	土			
3	日			
4	月		指導班会議(矢沢)	
5	火		▼招集校長会資料〆切 指導班会議(矢沢) 出・県地区セン総会①(酒井)	翔洋中等入学式 9:00 育・昼間育成活動
6	水	ふ・通級開始日	指導班会議(矢沢)	
7	木		指導班会議(矢沢)	
8	金	転入者用スクールオフィス講習会(情報研修室) 13:30	出・上越地区セン総会①(酒井)	育・下校育成活動(～28日)
9	土	科・春の植物観察会		
10	日			
11	月	相・相談班会議 13:00		
12	火	ふ・徒歩遠足(雨天順延)	地区理セン代表者会議(長岡:酒井) 13:30	
13	水			貸・退職校長会(多目)終日
14	木		出・心のケアセンター運営委員会(小林東) 10:00 市教委招集校長会(一中)	
15	金	ふ・保護者会	出・新潟市教育相談センター(小林東) 14:00 出・県地区セン研修総会①(酒井)	
16	土			
17	日			
18	月			
19	火	科・理科主任会		
20	水			
21	木		柏崎刈羽学校教育研究会総会 PM	
22	金			
23	土		上科技役員会(酒井)	
24	日			
25	月			
26	火			育・夜間育成活動
27	水	科・小6「人の体のつくりと働き」15:00		
28	木			
29	金	昭和の日		
30	土			
研・教育研究班 科・科学技術教育 相・教育相談班 ふ・ふれあいルーム 情・情報教育研修 育・育成センター 【 】は未確定の行事・時間				

ガリレオ・ガリレイはイタリアの天文学者
で近代科学の父と言われ、経験的・実証的方
法を用いる近代科学の端緒を開いた人です。

新しい教育の創造を志向する私たちにも
ガリレオ・ガリレイのごときたゆまざる創造
と検証の精神が必要であるという趣旨から
情報紙の名称を「GALILEI」としています。

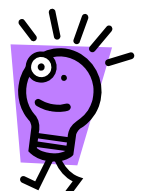
教育センターの情報とともに、柏崎の教育
を広く発信していきます。

所報「GALILEI」 平成23年3月末日発行

編集・表紙写真撮影 中山 博迪

「ガリレイ」に関する意見・感想は、下記へ

E-mail nakayama@kenet.ed.jp



柏崎市立教育センター

TEL(代表) 0257-23-4591
FAX(代表) 0257-23-4610

〒945-0833 新潟県柏崎市若葉町 2-31

教育研究班・情報教育 TEL・FAX 23-1168
教育研究班(科学技術教育) TEL 20-0212 FAX 20-0205
教育相談班(カウンセリングルーム) TEL 32-3397
// (電話相談) TEL 22-4115
E-mail k-center@city.kashiwazaki.niigata.jp